

2. 教員養成の目標を達成するための計画（短大）

◎こども学科

○幼稚園教諭二種免許状

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|-----|--|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 前学期 | <p>講義や演習等を通して、教育の今日的課題に関心をもち、学ぶ意欲を高めることを到達目標とする。さらに、教職に関する基礎的理論、幼稚園教育要領のねらい・内容を理解する。</p> <p>「保育原理」では、保育の意義・内容・方法や現状・課題について理解する。「教育原理」「教職概論」「教育の方法と技術（ICT活用を含む）」では、教育の概念や学校教育の実際、教師として必要な知識・技術や仕事の内容、一般的な教育内容・方法について理解する。「教育相談とカウンセリング」では、教育現場で必要なカウンセリングの理論と方法について理解する。「情報機器操作Ⅰ」では、インターネットや電子メール等を含むコンピュータリテラシーやセキュリティについて理解する。</p> |
| | 後学期 | <p>幼児の発達・成長や人間関係等についての理解を深め、幼児教育の重要性を認識することを到達目標とする。さらに、幼児教育の内容や技法について習得し、幼稚園や教師の役割・仕事について理解する。</p> <p>「保育内容総論」では、子どもの発達過程や養護と教育（5領域）の一体的展開について理解する。</p> <p>「こどもと環境」「こどもと言葉」「こどもと表現」では、各領域に関する基礎的な知識を身に付け、保育者の役割について理解する。「保育内容環境」「保育内容言葉」「保育内容表現」の指導法では、教材研究・指導案作成・模擬授業等を通して指導力を高める。「教育心理学」では、基礎心理学の理論と教育現場でいかす応用的方法を理解する。「特別支援教育基礎」では、教育的ニーズをもつ子どもの理解と支援について学ぶ。「教育実習講義Ⅰ」では、教育理論と教育実践との結びつきや「教育実習」の意義・心構えを確認し、事前準備を行う。</p> |
| 2年次 | 前学期 | <p>各種の遊び・読み聞かせ・物作り等の実践力を身に付け、「教育実習」を通して幼稚園の現場で教材研究・教育活動に積極的に携わり、幼稚園教諭の役割を確認し、自己の教育課題を見いだすことを到達目標とする。</p> <p>「こどもと健康」「こどもと人間関係」では、各領域に関する基礎的な知識を身に付け、保育者の役割について理解する。「保育内容健康」「保育内容人間関係」の指導法では、教材研究・指導案作成・模擬授業等を通して指導力を高める。</p> <p>「こどもの理解と援助」では、乳幼児の心身の発達や学びを把握することの意義と教師の援助について理解する。「教育課程論」では、関係法令や教育課程の編成・実施について理解する。「教育実習講義Ⅱ」では、学習指導案・教材作成等の最終確認を行い、効果的な「教育実習」を行えるようにする。</p> |
| | 後学期 | <p>これまでの学びを総合的に整理し、幼稚園教諭としての自己課題の解決に努めるとともに、学び続ける意欲を高め、幼稚園教諭として教育活動ができる広い知識と確かな実践力と専門性を身に付けることを到達目標とする。</p> <p>「教育実習」での成果と課題をまとめ、自己の教育的課題の解決に努める。「教職実践演習（幼・小）」では、自己の学びの軌跡を振り返り、不足している知識や教育技術の定着を図るとともに、社会性や人間関係能力を高める。</p> |

◎こども学科

○小学校教諭二種免許状

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|-----|---|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 前学期 | 講義や演習等を通して、教育の今日的課題に関心を持ち、学ぶ意欲を高めることを到達目標とする。さらに、教職に関する基礎的理論、小学校学習指導要領の目標・内容、内容の取扱いを理解する。「教育原理」「教職概論」「教育の方法と技術（ICT活用を含む）」では、教育の概念や学校教育の実際、教師として必要な知識・技術や仕事の内容、一般的な教育内容・方法、教育の今日的な課題と取組について理解する。「教育相談とカウンセリング」では、教育現場に必要なカウンセリングの理論と方法について理解する。「社会」「理科」「音楽」「図画工作」「家庭」では、各教科の目標および内容、内容の取扱い、指導の具体的な方法を理解する。「情報機器操作Ⅰ」では、インターネットや電子メール等を含むコンピュータリテラシーやセキュリティについて理解する。 |
| | 後学期 | 子どもの発達・成長や人間関係等について理解を深め、小学校教育の重要性を認識することを到達目標とする。さらに、子どもの特性を把握した適切な指導方法を習得し、小学校教育や教師の役割・仕事を理解する。「教育心理学」では、基礎心理学の理論と教育現場でいかす応用的方法を理解する。「国語」「算数」「生活」「体育」では、各教科の目標および内容、内容の取扱い、指導の具体的な方法を理解する。「道徳指導法」「特別活動指導法」では、学校教育全体で取り組む道徳教育や特別活動の目標・内容・教育的意義について理解する。「総合的な学習の時間の指導法」では、キャリア教育の他、横断的総合的な学びを理解する。「特別支援教育基礎」では、教育的ニーズをもつ子どもの理解と支援について学ぶ。「教育実習講義Ⅰ」では、教育理論と教育実践との結びつきや「教育実習」の意義・心構えを確認し、事前準備を行う。 |
| 2年次 | 前学期 | 学習指導・生徒指導・学級経営の理論と技術を習得し、応用力を高める。さらに、「教育実習」を通して様々な教育活動を経験し、教育者の役割、幼稚園・小学校の機能を十分に把握するとともに、教材研究・教育活動に積極的に携わり実践力を高める。自己の教育課題を見だし、解決への見通しをもつことも到達目標とする。「教育課程論」では、関係法令や教育課程の編成・実施について理解する。「生徒指導（進路指導を含む）」では、子どもの現状や今日的課題を理解し、生徒指導・進路指導のあり方を学ぶ。「小学校英語」では、目標および指導内容・方法を理解する。「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」「英語」の各教科の「指導法」では、教材研究・学習指導案作成・模擬授業等を通して指導力を高める。「教育実習講義Ⅱ」では、学習指導案・教材作成の最終確認を行い、効果的な「教育実習」を行えるようにする。 |
| | 後学期 | これまでの学びを総合的に整理し、小学校教諭としての自己課題の解決に努めるとともに、学び続ける意欲を高める。小学校教諭として必要とされる教育活動が十分にできる幅広く高度な知識と技能、確かな実践力を習得し、時代の変化に対応できる専門性を身に付けることを到達目標とする。教育実習での成果と課題をまとめ、自己の教育的課題の解決に努めることも意識し、「教職実践演習（幼・小）」では、自己の学びの軌跡を振り返り、不足している知識や教育技術、今日的な課題への理解の定着を図る。また、実習と実績的な学びから社会性や人間関係能力を高める。 |